

こんな症状ありませんか？



(絵)

三笠中学校
美術部 3年
小屋 響希 さん



詳しい解説は
裏面へ!!



「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」
IN 阿久根

家に帰ることができない



そんな時は

本人がよく立ち寄るところや近所の方などに、本人を見かけた際には教えていただくよう、事前に話をしておくとう安心です。

また、地域の通いの場（ころばん体操、いきいきサロン）に行ったり、介護保険を申請して、通所サービスを利用するなど、行きつけの場所を作ること、一つの手段です。

さらに、阿久根市では「あくね認知症見守りネットワーク」を行っており、事前に登録すると、行方不明となった際に、警察・消防・市役所・区長・民生委員の連携が速やかに行われるほか、地域全体の見守りを強化し、早期発見の可能性を高めることができます。



なぜ？

認知症になると、最近の記憶を失いやすく（短期記憶障害）、自分がやろうとしていたことを忘れて、この場所にいる目的を忘れてしまうことがあります。

また、時間や場所、人が分からなくなる見当識障害によって、夕方に家を出たり、迷子になることがあります。



認知症について

年をとれば誰にでも起こる可能性がある脳の病気です。しかし、認知症についての誤解や知識不足から、本人も周囲もつらい思いをしていることが少なくありません。



認知症の原因、症状、本人の気持ち、対応などの情報については

令和7年9月20日(土)
認知症サポーター養成講座を受講ください。



認知症や介護、生活のことでの相談は下記連絡先へ

阿久根市地域包括支援センター
(市役所14番窓口)
☎73-1272